

# 分野別の将来像及び実現のための取組 〈市民会議による検討（中間とりまとめ）〉

分科会グループⅠ	分科会グループⅡ	分科会グループⅢ
〈テーマ1〉 子ども・子育て支援	〈テーマ6〉 産業・観光振興	〈テーマ11〉 市街地整備 (住環境・街並み・景観)
〈テーマ2〉 学校教育	〈テーマ7〉 芸術・歴史文化	〈テーマ12〉 道路・交通
〈テーマ3〉 青少年の健全育成	〈テーマ8〉 生涯学習	〈テーマ13〉 水・緑・環境保全
〈テーマ4〉 健康づくり	〈テーマ9〉 スポーツ・レクリエーション	〈テーマ14〉 防災・防犯
〈テーマ5〉 福祉 (地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉)	〈テーマ10〉 地域コミュニティ	



将来像

# 調布の自然の中で、 子どもを安心してのびのびと育てられるまち

《将来像に込められた 10 年後のあるべきまちの姿》

◆子どもの安全・安心を守るまちの基盤づくりや、地域での見守りネットワークづくりとともに、豊かな調布の自然とふれあえる身近な遊び場づくりにより、子どもが元気に、のびのびと育つまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

子育てしやすい、情報、気軽に相談、応援する、フォローする、  
子どもの数を増やす、安心して、ゆとりある、民間活力、行政も市民も、預けられる、  
いつでも、人材、ネットワーク

まちづくり  
の方向性

## ①子どもを産み、育て たくなるまちづくり

- 誰でも、より出産や子育てがしやすい環境づくりのため、助成・支援の和を広げます。
- 誰もが安心して子育てができるよう、子育てサポート情報の充実と発信を図ります。
- 子どもの健やかな成長のため、保護者に対する啓発の機会を充実させます。
- 発達に遅れやかたよりのある子どもの子育て支援が、より身近で受けられるよう、支援体制の充実を図ります。

## ②子どもを持つ親が働くことのできる環境が揃うまち

- いつでも、安心して子どもを預けることができ、働きながら、ゆとりを持った子育てができるよう、保育サービスや施設の充実を図ります。

## ③地域で育てるまちづくり

- 安心して子どもを生み、育てることができるよう、地域ぐるみで子どもの成長と安全を見守るネットワークづくりを進めます。
- 子育て世代だけでなく、様々な世代の人との交流を通じて、気軽に子育て相談ができるよう、集いの場づくりを推進します。

## ④子どもの安全・安心な環境づくり

- 子どもの安全・安心を守るため、子どもたちの目線で、より安全・安心できるまちの環境づくりを推進します。

## ⑤子どもの遊び場・居場所づくり

- 子どもが自然とのふれあいを通じて、元気に・のびのびと育つよう、緑と共生した身近な遊び場づくりと、適切な維持管理を推進します。

現状と  
課題

### 強み (良いところ, 伸ばしたいところ)

- 保育園の定員拡大に取り組んでいる
- 情報誌・市報等での広報・案内が良くできている
- 子ども発達センターが整備されている
- 自然の中で遊べる場所が多い など

### 弱み (悪いところ, 改善したいところ)

- △小学校の就学前と就学以降の情報をまとめて見ることができないものがない
- △子どもを連れて買い物する場合、自転車での交通が危険である
- △4年連続で保育園の待機児童が 200 人を超えている
- △病児を預かってくれる場所が少ない など

将来像

# 子どもたちの個性を伸ばし、 たくましく生きる力と豊かな人間性を育むまち

《将来像に込められた 10 年後のあるべきまちの姿》

- ◆それぞれの個性を伸ばし、主体的に考える力を育むための機会や環境を整備するとともに、学力だけでなく体力や社会性、人間性も養えるような学校づくりと地域や自然、多世代との交流などさまざまな経験ができる環境づくりを進めます。

《将来像につながるキーワード》

教育環境, 安全安心, 情報教育, 充実, 連携, 個性, 特色, 魅力的な,  
OB人材を活用, 生きる力, 豊かな心, 交流, 人と自然との調和, 人の夢を大切にする, 共存,  
地域の教育力, すこやかに, サポート, 保護者も成長

まちづくり  
の方向性

### ①教育環境の整備

- 子ども達が安全に安心して学習に取り組めるように、市内学校施設の環境を整備していきます。
- 誰もが本に親しみ、主体的に考える力を育てるため、図書館・学校図書館の充実を図ります。

### ②教育の質の向上

- 学力だけではなく、体力や社会性などバランスのとれた教育を推進します。
- 国際的にも通用する知識や見識が持てる教育の機会を確保します。
- ひとりひとりの個性を発見し伸ばすために、特色や魅力のある学校づくりを推進します。

### ③地域や教育機関の連携強化

- 市内の教育機関や地域が連携して、子どもが小さい頃から成長するまで流れのある教育を確保します。
- 学校での学習だけではなく、地域や自然との交流を図り、子ども達が健やかに成長できる環境を整備します。

### ④不登校児童・生徒の解消

- 誰もが学校に行きたいと思えるように、きめ細かくサポートできる体制を整備していきます。

### ⑤心の教育の充実

- 豊かな心を育成するため、同世代だけではなく様々な世代と交流できる環境を整えます。
- 子ども達が将来にわたって「生きる力」や「強い心」をもてるよう、自然体験など幅広い学習の機会を充実します。
- 障害者について理解を深め、心のバリアフリーが実現できるような教育機会を設けます。

現状と  
課題

#### 強み (良いところ, 伸ばしたいところ)

- 様々な体験学習がある
- 不登校児童に対する対応が充実している
- 図書館・学校図書館が充実している
- 幼・保・小が連携している など

#### 弱み (悪いところ, 改善したいところ)

- △施設の老朽化が進んでいる
- △情操教育の時間を増やすことが必要
- △道徳や心の教育の時間が少ない など

将来像

# 青少年が地域の中で 様々な体験や世代間交流を通じて成長できるまち

《将来像に込められた 10 年後のあるべきまちの姿》

- ◆世代を超えた地域のつながりや、交流の機会を充実させるとともに、学校以外での遊びや体験を通じて人間性や社会性・多様性を身につけ健やかに成長できるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

明確化, ビジョン, 多様性, 自然, 養成, 命の大切さ, 活躍, 参加, リーダー実践,  
つながり, すこやかに, 見守り, 連携, 世代を超えての, 受け継ぐ, 掘り起こし, ネットワーク

## ①健全育成のビジョン・方針づくり

○人としてのモラルをもった青少年を育成するため、育成のビジョンを明確化します。

## ②健全育成のメニューや内容の充実

○様々な体験に触れることができる環境や機会を整備します。

## ③世代間のふれあいを通じた、伝える・つながるまちづくり

○地域交流や世代間交流を通じて、知識や経験を受け継ぎ、すこやかに社会性を身につけながら成長できる場を充実します。  
○世代間交流やボランティア活動など様々な社会参加の仕組みを充実していきます。

## ④地域で子どもを育て・見守る仕組みづくり

○非行や犯罪にかかわることのない健全な育成を推進するため、地域や学校などが連携して青少年を見守ります。

## ⑤健全育成のための人・居場所などの基盤の再構築

○次世代の担い手育成のために、リーダー育成の取組や活躍の場を充実します。  
○青少年が気軽に立ち寄って相談したり過ごすことができる場を提供します。

まちづくり  
の方向性

現状と  
課題

強み (良いところ, 伸ばしたいところ)	弱み (悪いところ, 改善したいところ)
○学童クラブ・ユーフォー・CAPSの活動 ○子どもが参加できるイベントが多い ○ジュニアリーダー養成の取組                      など	△児童館等の施設の老朽化 △多世代間の交流の場が少ない △学童クラブとユーフォーが別々 △CAPSが西部にしかない                      など

将来像

# 生涯にわたって、心身ともに健康で、 笑顔あふれる生活を送ることができるまち

《将来像に込められた 10 年後のあるべきまちの姿》

- ◆積極的に健康づくり活動に取り組むことで、笑顔があふれ、生涯にわたって心身ともに健康で、自分らしい生活を送ることができるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

意識向上, 気軽にできる, 散歩, 全ての, 若年層, 安心,  
連携, 心身, 情報提供, PR, 笑顔

## ①市民の自発的な健康づくり活動を促す仕組みづくり

- 生涯にわたり健康で自分らしい生活を送ることができるよう、子どもからお年寄りまで気軽に健康づくりができる仕組みづくりを推進します。
- 市民の自発的な健康づくり活動を促すため、健康意識を向上させる仕掛けづくりや、健康づくりをしたくなるまちの環境整備を進めます。

## ②笑顔のあふれるまちづくり

- 心身ともに健康に暮らせるよう、心の健康をサポートする仕組みづくりを推進します。

## ③病気の予防と早期発見による市民の健康を守る仕組みづくり

- 病気の予防と疾病の早期発見により、全ての世代が健康に暮らせるよう、健診内容の充実を図るとともに、定期的な受診を促します。

## ④医療体制の充実

- 安心できる暮らしを支える医療環境を確保するため、利用者ニーズを踏まえ、よりよい医療サービスの充実を促します。

まちづくり  
の方向性

現状と  
課題

### 強み (良いところ, 伸ばしたいところ)

- 生涯学習に健康を意識したものが多い
- 野球場, サッカー場などの施設が充実している
- 夜間急患や休日診療所の開設
- がん検診受診券の個別通知を行っている など

### 弱み (悪いところ, 改善したいところ)

- △高齢者が散歩する際に座ることができるイスやベンチになるもの, 坂の手すりなどがあると良いのではない
- △若年層の健診に対するフォローが充分でない
- △大きな医療機関が少ない
- △心の健康に対する施策が充分とは言えない など

※内容は、市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

# 互いに認め支えあい、 安心して生き生きと暮らせるまち

将来像

《将来像に込められた 10 年後のあるべきまちの姿》

◆様々な立場の方へ理解を深め、地域での高齢者・障害者の見守り・サポートを促すことにより、高齢者・障害者が孤立せずに、生き生きとした生活を送ることのできるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

家族のケア、理解を深める、就労、孤立せずに、介護の質、生き生き、自立、絆  
E-バ-カルゲザイ、生きがい、集える、気軽に、支えあう、見守り、安心して

## ①見守り支えあいの まちづくりの推進

- 高齢者や障害者が孤立せずに、安心して地域で暮らせるよう、生活しやすい環境づくりや地域で支える仕組みづくりを進めます。
- 障害者を支える家族をサポートするため、ショートステイや学童保育などの支援の場を充実します。

## ②ノーマライゼーシ ョンの意識啓発

- 高齢者や障害者などへの理解を深めるため、日常的に接することのできる機会づくりを進めます。

## ③地域福祉の担い手 の育成・発掘

- 地域で支え合う仕組みづくりのため、福祉に関する知識を持ち、高齢者・障害者などをサポートできる新たな担い手の育成及び発掘を推進します。

## ④社会的弱者に 対する就労支援

- 障害者の就労機会を確保するため、支援企業の開拓と受入れ後のサポートの拡充を進めます。
- 低所得者の社会的自立と生活安定に向けて、就労支援に関する相談・支援を推進します。

## ⑤誰もがいきいきと 暮らせるまちづくり

- 高齢者や障害者など、誰もが過ごしやすいまちづくりのため、ハンディキャップを持つ人の声を反映したまちの環境整備を進めます。
- 高齢者や障害者が孤立せず、安心して地域で暮らせるように、日常的コミュニケーションの機会が増える「集える場」づくりを推進します。
- 高齢者や障害者が生きがいの持てるまちづくりに向けて、知識や能力を活かせる場を充実させ、社会参加を促進します。

## ⑥福祉施設の 質・量の向上

- 生活サポートを必要とする高齢者や障害者が、住み慣れた自宅で長く過ごすことができるよう、在宅でのケアをサポートする仕組みを充実します。
- ずっと安心して暮らせるよう、介護や障害の施設の充実を図ります。
- 高齢者・障害者の支援に関する情報を、誰でも入手しやすいよう、情報の提供方法を充実します。

まちづくり  
の方向性

現状と  
課題

### 強み (良いところ, 伸ばしたいところ)

- 見守りネットワーク等が充実している
  - シルバー人材センターが活用されている
  - 障害者による食堂、おかし屋さんなどの開設
- など

### 弱み (悪いところ, 改善したいところ)

- △高齢者施設が少ない
  - △ホーム従業員、特に介護福祉士の給与が低い
  - △独居老人のコミュニケーション支援の拡充
  - △子どもの頃から、障害のある方との関わりの中で障害への理解を深める機会が不足している
  - △障害者の就労場所の確保が必要
- など

※内容は、市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

将来像

# みんなが愛着と誇りをもてる“これぞ調布”という 地域の特色がきらりと光るまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

◆商店街の活性化や企業誘致，都市農業の振興，地域資源の発掘・活用など，地域の特色を生かしたまちづくりを進めるとともに，「これぞ調布」というまちの資源を磨き上げることにより，市民が地元へ愛着を持ち，観光客からもまた訪れたいと思われるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

回遊性，これぞ調布，愛着，継続的な情報発信，（情報の）集約，地域資源を活用，地域の特色，商店街，賑わい，創出，産学連携，市内のマンパワー（人材），都市農業，地産地消

まちづくり  
の方向性

## ①観光資源の発掘・魅力向上

- 市内観光スポットをつなぎ，賑わいを点から面に広げるため，各所をつなぐアクセスツールとマップを作成し，回遊性のある観光まちづくりを促進します。
- これぞ調布という観光資源の発掘・開発を促進し，誰にでもわかりやすい魅力あるまちづくりを進めます。
- 市内に色々あるイベントをうまくつなげ，いつどこに行っても楽しいまちづくりを進めます。
- 市民が誇りを持ち，愛着のあるまちにするため，地域資源を活用して，自慢できる観光を目指します。

## ②まちの情報発信の充実

- 市内外に向けた情報発信を強化するため，分散している情報を集約し，定期的，継続的，かつ速やかに発信します。
- 市外からのお客様を集めるため，発信拠点やアンテナショップをつくり，情報を入手しやすい工夫を行います。

## ③快適で魅力的な 買い物環境の創出

- 地域の特色を生かしながら，既存商店街の支援や駅前商店街の再開発などにより，人が集まりたくなる空間を創出します。
- 人が集まる場所をつなげる移動手段の整備や，駅前の有効活用など回遊性の向上と中心市街地の活性化を図ります。

## ④企業活動に対する 支援の充実

- 地域経済を活性化するため，創業支援・中小企業支援や，産学協働の仕組みづくりなど，企業にとって魅力的な環境づくりを進めます。
- 市内の人材を活用した経済発展を図るため，雇用者と就労希望者のコーディネート機能を強化し，働きつづけられる環境づくりを進めます。

## ⑤都市農業・地産地消の推進

- 参加型農業を進めることにより，生産者と消費者のつながりを強め，地域に根差した都市農業を育成していきます。
- 地元で安全な食材を得ることができる調布をめざし，地域全体で都市農業を守るとともに，地産地消を推進します。

現状と  
課題

強み（良いところ，伸ばしたいところ）	弱み（悪いところ，改善したいところ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベントがいろいろある（花火大会，おまつり等）</li> <li>○観光ポイントがたくさんある（深大寺など）</li> <li>○仙川商店街がにぎわっている</li> <li>○都心から近く，企業立地に適している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△回遊性が低い（観光する時の交通が不便）</li> <li>△駅ごとのにぎわいに差がありすぎる</li> <li>△創業支援が三鷹・川崎に比べて弱い</li> <li>△オンリーワンの産業や特産物が少ない，知られていない</li> </ul>

※内容は，市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

将来像

# 調布らしい芸術・歴史文化が身近に感じられ、 新たな世代に受け継がれていくまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

- ◆映画など独自の芸術・文化や各地域の歴史的資源のさらなる活用を図り、市民の誇りと愛着を醸成するとともに、子どもの頃から芸術・歴史文化に触れる機会を創出することにより、未来を担う新たな世代に調布らしい芸術・歴史文化が伝承されるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

身近に芸術・文化に触れ、くつろぎ、うるおい、(人材)育成、関わり、民学官・連携、映画のまち、調布らしい、歴史的な価値、市民が誇れる、新たな世代、愛着、調布ゆかりの芸術家・文化人、知り合う

まちづくり  
の方向性

①芸術・文化活動のための場の充実

- 生活にくつろぎとうるおいをもたらすため、文化施設などを活用し、身近に芸術・文化に触れることのできる機会を提供します。
- 文化団体をはじめ、民学官の連携・交流を促進することにより、文化施設に留まらない文化活動の展開を推進します。

②芸術・文化的な資源を活かしたまちづくり

- 調布らしい独自の芸術・文化を発信するため、豊富な映画資源や各種教育機関などと連携して、広くPRを行い、調布の印象を強め、ブランド力を高めます。

③歴史的資源の保全と活用

- 歴史的な価値を新たな世代に伝えて愛着心を育むため、歴史・伝統に触れる機会を提供します。
- 地域住民による歴史的資源の自主的な保全や活用を推進し、地域のまちおこしにつなげます。

④芸術家・文化人との連携によるまちの魅力づくり

- 調布にゆかりのある芸術家・文化人との関わりを持ち、より質の高い芸術・文化のまちづくりを進めます。
- 芸術家・文化人を育成、支援、発掘することで、活躍の場を広げます。

⑤多文化共生

- さまざまな国籍や文化を持つ市民がお互いを理解し、市民が一体となったまちづくりを進めます。

現状と  
課題

強み (良いところ, 伸ばしたいところ)	弱み (悪いところ, 改善したいところ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場など, ホールが充実</li> <li>○映画イベントが多い</li> <li>○桐朋学園, 音大・音楽のまち, 短大・演劇</li> <li>○多くの歴史的なスポットがある (深大寺, 実篤, 近藤勇)</li> <li>○有名人がいる (水木しげるさん, 中畑清さん (元プロ野球選手)) など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△調布ならではのイベントがもっとあればよい</li> <li>△下布田遺跡や深大寺城跡など歴史的資源があまり知られていない</li> <li>△若手芸術家の活躍の場が少ない など</li> </ul>

※内容は、市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

将来像

# 出会いや交流の輪が広がり、 すべての世代がいきいきと暮らせるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

- ◆既存施設の有効活用や関連団体との連携強化、情報発信の強化など、一人ひとりの生涯学習活動の輪を広げるための支援を行い、生涯学習の気運を高めることにより、すべての人が生きがいを持って学び暮らせるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

協力・連携、壁をなくす・より身近、人との出会い・交流、地域の文化が創造、すべての世代、多様な市民、支援、捜しやすくする、一元管理、わかりやすく、発掘、他薦・自薦、結ぶ、輪を広げる、コーディネート機能

まちづくり  
の方向性

①参加しやすい多様な生涯学習  
の機会づくり

- 出会いや交流が生まれるよう、関連団体との協力を図りながら、参加しやすい仕組みづくりを進めます。
- すべての世代がいきいきと活動できるよう、たづくりやせんがわ劇場、市内大学などを活用し、支援を行います。

②生涯学習活動の場の充実

- 生涯学習活動をより身近なものにし、活動のすそ野を広げるため、地域の特色を生かした新たな活動拠点づくりを進めます。
- 市民の自主的な学習活動を促進するため、施設の利便性を高め、学習環境を整えます。

③生涯学習情報の収集・提供

- 市民活動支援センターや生涯学習情報コーナーの有効活用のほか、インターネット上での情報一元管理など、すべての人が情報をさがしやすい環境づくりを進めます。

④生涯学習活動の担い手の  
発掘・育成

- 生涯学習活動の担い手を確保するため、自薦・他薦による人材発掘や担い手育成を進めます。
- 生涯学習活動の輪を広げるため、コーディネート機能を強化し、世代を超えて人と人を結ぶ環境づくりを進めます。

現状と  
課題

強み（良いところ、伸ばしたいところ）	弱み（悪いところ、改善したいところ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○たづくり、市民カレッジ、近隣大学公開講座など、学習機会の充実</li> <li>○生涯学習コーナーがある</li> <li>○行政が市民専門家を発掘しようとしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△既存の団体に入りにくい</li> <li>△活動の場が調布駅、国領駅近辺のみ</li> <li>△「さがすみつかるシステム」の利便性に改善の余地あり</li> </ul>

※内容は、市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

将来像

# 誰もが気軽にスポーツを楽しみ，集うことにより， 市民みんなが元気になるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

◆既存施設の有効活用や利用者の声を反映した施設の整備を進めるとともに，地域に根付いた活動を支援することにより，市民一人ひとりがスポーツ活動をより身近に感じることができるまちを目指します。また，調布ゆかりのチームや選手を，市を挙げて応援する体制を整えることにより，市民が一丸となってスポーツを楽しむまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

学校開放，気軽にスポーツ，身近な，特色，利便性，スポーツを通して世代間交流，根付いた，市民が集える，一体感を高める，市を挙げての応援

まちづくり  
の方向性

①スポーツ活動のための  
充実した環境づくり

○身近なところで気軽にスポーツを楽しめるよう，既存施設の活用を進めるとともに，利用者の声や地域の特色を反映した利便性の高いスポーツ環境の整備に努めます。

②スポーツ活動への参加機会  
の充実

○スポーツを通して世代間交流が図られるよう，市民が集えるスポーツイベントの開催など，地域に根付いたスポーツ活動の支援を行います。  
○より多くの市民がスポーツ活動に参加したくなるよう，スポーツ施設やイベントなどの情報を分かりやすく魅力的にして発信します。

③スポーツ活動を支える  
担い手づくり

○指導者の育成やボランティア団体の支援など，調布のスポーツ活動を支える担い手を育成します。

④調布らしさを活かした  
スポーツのまちづくり

○市民一丸となってスポーツを楽しむ，まちの一体感を高めるため，調布に根差したスポーツチームや調布出身のスポーツ選手を市全体で応援します。

現状と  
課題

強み（良いところ，伸ばしたいところ）	弱み（悪いところ，改善したいところ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○多摩川がある（ジョギングやサイクリングなどに利用されている）</li> <li>○地域スポーツクラブ（調和SHC）がある</li> <li>○市民体育祭，調布駅伝が行われている</li> <li>○FC東京がある</li> <li>○調布出身の関取誕生（皇風関）<span style="float: right;">など</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△施設が少ない</li> <li>△市予算における体育施設費が近隣市に比べ少ない</li> <li>△スポーツ大会の告知が弱い<span style="float: right;">など</span></li> </ul>

※内容は，市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

将来像

# 地域のつながりや連帯感を大切にし、 誰もがぬくもりに触れ合えるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

- ◆地域に開かれた場づくりや顔が見えるネットワークづくりを進めることにより、一人ひとりが地域コミュニティの大切さを理解し、地域すべての人がコミュニティ活動に参加している、地域のつながりや連帯感が強く、ぬくもりに触れ合えるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

つながり・絆・連帯感、輪を広げる、顔が見える、地域のすべての人、開かれた場、  
市民意識啓発・啓蒙、面倒くさいと思わせない、気軽に参加、抵抗なく参加、  
地域コミュニティの大切さ、課題を持ち寄れる場

まちづくり  
の方向性

### ①コミュニティ組織の育成・活性化

○活動目的に合わせた情報発信や地域に根付いたコミュニティ活動の拠点整備を進めることで、様々な地域活動を盛り上げます。

### ②コミュニティ活動への参加機会の充実

○地域のすべての人が気軽に参加できるよう、地域に開かれた場づくりを進めます。  
○地域コミュニティの大切さや楽しさを伝えることにより、コミュニティ活動に抵抗感なく参加できるような環境づくりに努めます。

### ③地域コミュニティを核としたまちづくり

○これまで培われてきたコミュニティや、地区協議会を活用した顔が見えるネットワークづくりを進め、ぬくもりの輪を広げます。

現状と  
課題

強み（良いところ、伸ばしたいところ）	弱み（悪いところ、改善したいところ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区協議会（住民自治組織）がある</li> <li>○地域活動に積極的な方が多い</li> <li>○地域交流が盛ん</li> <li>○コミュニティが成立しているイメージがある</li> <li>○調布そこには「ぬくもり」がある など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△自治会の組織率（加入率）が低い</li> <li>△地域団体への若い人の参加が少ない</li> <li>△地域のつながりをふだん感じにくい</li> <li>△活動場所の不足 など</li> </ul>

※内容は、市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

将来像

# 多世代がいつまでも快適に暮らせる、 くつろぎとふれあいに満ちたまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

◆子どもからお年寄りまで、だれもが気軽に憩える住環境を目指すとともに、まちに誇りと愛着を持って活気と魅力あるまちづくりを進めることにより、多様な世代がいつまでもくつろぎとふれあいに満ちた空間の中で、快適に暮らし続けることができるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

うるおい、ゆとり、くつろぎ、憩い、交流、ふれあい、  
落ち着いた街並み、利便性の高いまち、快適、人が集まる、にぎわい、活力、  
守り・育てる、子どもからお年寄りまで、だれもが、いつまでも、親切、ユニバーサルデザイン

まちづくり  
の方向性

### ①身近な憩いの場づくり

- だれもが、気軽にくつろげる憩いの場を増やすため、身近な公園・緑地の適正配置を進めます。
- 地区によって異なるニーズを踏まえた、利用者の視点に立った身近な公園・緑地づくりを進めます。

### ②良好な街並みの形成

- 良好な街並み景観を維持・形成するため、各地区の特性に応じた魅力あるまちづくりや、景観のルールづくりを進めます。
- 深大寺をはじめとする歴史的・文化的資源との一体的な景観形成を図ります。

### ③快適な住環境の整備

- だれもがより快適に暮らすことができる、利便性の高い住環境をつくるため、都市基盤の整備を進めます。
- 超高齢社会に対応したまちづくりを進めるため、ユニバーサルデザイン<sup>注</sup>を取り入れた安全・安心な住環境づくりを進めます。

### ④駅周辺の整備

- 人と人との語らい、ふれあいを深められるようにするため、京王線の跡地を利活用して、うるおいのある緑豊かな交流空間づくりを進めます。
- 活気と魅力に満ちた市街地（駅周辺）を形成するため、にぎわいと利便性を兼ね備えた都市空間の創出を図ります。

注) 障害の有無、年齢、性別等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいようあらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方をいいます。

現状と  
課題

#### 強み（良いところ、伸ばしたいところ）

- 都心に近い立地特性の一方、緑や水が豊かで自然が残されている
- 市全体で駅周辺を除いてあまり高い建物が少なく、街並みに落ち着きがある
- 工場などが少ないため、住環境が良い
- 深大寺など、全国に誇れる名所がある

など

#### 弱み（悪いところ、改善したいところ）

- △ちょっとした休憩スペース（ポケットパークなど）などが少ない
- △駅前の景観に統一性がない
- △駅周辺のにぎわいが未成熟
- △歩いて楽しい街並みが少ない
- △住宅が密集しており、防災上問題がある

など

※内容は、市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

将来像

# だれもが便利で安全・安心に移動できる、 良好な交通環境のあるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

- ◆地域の特性を踏まえつつ、幹線道路や生活道路の整備充実を図り、歩行者と自転車利用者の双方にとって快適な通行空間を確保するとともに、公共交通及び駅周辺の交通利便性の向上などを総合的に進めることによって、だれもが便利で安全・安心に移動できる良好な交通環境が整ったまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

交通渋滞の緩和、利便性の向上、安全・安心、快適、ユニバーサルデザイン、歩行者空間の確保、優先性、良好な生活空間、だれもが、環境負荷の低減、自転車利用の促進、自転車走行空間の確保、公共交通の充実、交通ネットワークの充実

まちづくり  
の方向性

## ①幹線道路の整備

- 交通の利便性の向上と交通渋滞の少ない道路ネットワークの形成を目指します。
- 快適な都市空間を創出するため、植樹による沿道景観づくりやユニバーサルデザイン<sup>注</sup>の考え方を踏まえた幹線道路の整備を進めます。
- 生活道路への通過交通の流入を防止するとともに、市民生活の利便性を向上させるため、まちづくりの視点による優先性を踏まえた幹線道路の整備を進めます。

## ②生活道路の整備

- 歩行者が安心して歩ける生活空間を確保するため、地域の特性に応じた生活道路の整備を進めます。
- 防災上の観点から、狭い道路や行き止まり道路の解消を進めます。
- 安全で快適な交通環境の実現のため、交通マナーの向上を図るとともに、ユニバーサルデザイン<sup>注</sup>の考え方を踏まえ、あらゆる利用者の視点に立った生活道路の整備を進めます。

## ③自転車対策の推進

- 環境にやさしく、子どもから高齢者まで利用することができ、健康増進にもつながる自転車の利用を促進します。
- 自転車利用者の利便性の向上と歩行者の快適性を確保するため、放置自転車の発生を防ぐとともに、自転車駐車場の整備を進めます。
- 歩行者と自転車利用者の安全性を向上させるため、自転車の走行空間を確保するとともに、交通安全意識の向上を目的としたマナー教育を進めます。

## ④バス交通の利便性の向上

- 地域の生活利便性を向上させるため、利用者のニーズに応じたバス交通ネットワークの充実と、乗り換え案内などの利用しやすい環境整備を進めます。

## ⑤駅周辺の交通利便性の向上

- 交通結節点としての機能を向上させるとともに、憩い・集える交流機能の創出にも配慮した駅前広場の整備を進めます。

注) 障害の有無、年齢、性別等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいようあらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方をいいます。

現状と  
課題

### 強み (良いところ, 伸ばしたいところ)

- 主要な道路の整備が進んでいる
- 歴史を感じる道路 (旧甲州街道など) がある
- 調布駅を中心に、南北のバス交通網が充実している
- 公共交通 (電車・路線バス・コミュニティバス) が充実している
- 京王線の地下化によりさらなる利便性の向上が図られる など

### 弱み (悪いところ, 改善したいところ)

- △幹線道路の整備率が低く、生活道路の整備が遅れている
- △歩道がない道路が多く危険な箇所がある
- △自転車専用レーンの整備が遅れている
- △放置自転車がが多く、自転車利用者のマナーが悪い
- △来街者へのバスの乗り換え案内がわかりにくい など

※内容は、市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

将来像

# 豊かな自然や身近な緑を大切に守り，育て， 人と自然が共に生きるまち

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

◆豊かでうるおいのある自然環境を将来世代に継承するため，身近な緑を大切に守り，育てるとともに，市民・事業者・行政などが連携し，各主体の役割に応じた環境にやさしい取組を進めることによって，人と自然が共生するまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

豊かな自然，豊かな緑，快適な，良好な，良質な，身近な，だれもが，次世代，うるおい，やすらぎ，親しみ，ふれあう，自然との共生，生物多様性，水と緑のネットワーク，自主的な取組，市民意識の向上，循環型社会，低炭素社会

まちづくり  
の方向性

①豊かな自然を生かしたまちづくり	②公園や緑地の保全・整備	③良好な水環境の保全・整備	④生活環境の保全	⑤地球環境の保全
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゆとりとうるおいのある住環境を維持・向上させるため，豊かな緑を将来にわたって大切に守り，育成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○だれもが憩える身近な交流拠点づくりのため，地域にふさわしい計画的な公園の整備を進めます。</li> <li>○緑地の減少を抑えるため，身近な緑を保全，育成，創出するルールづくりに取り組みます。</li> <li>○市民に安らぎやうるおいをもたらす良好な都市環境を形成するため，農地の保全・活用を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うるおいとやすらぎのある水環境を保全・整備するため，河川の親水化や水質の向上などに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資源循環型社会を実現するため，ごみの減量化や資源化などをより一層積極的に進めます。</li> <li>○生活環境を保全するため，騒音，振動などの生活環境被害を抑制するとともに，ごみのポイ捨て・不法投棄等を防止し，まちの美観の向上に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地球環境の保全のため，市民・事業者・行政など各主体の役割に応じた地球温暖化対策の推進により，環境負荷の少ない社会の構築を目指します。</li> </ul>

現状と課題

強み（良いところ，伸ばしたいところ）	弱み（悪いところ，改善したいところ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○深大寺や多摩川など，豊かな自然・緑が多い</li> <li>○都区内・近隣市と比較し，緑が多い</li> <li>○畑や農地が多く，ゆったりした季節感が感じられる</li> <li>○多摩川など水辺が多い</li> <li>○ごみのリサイクル率が高い</li> <li>○ごみの減量が進んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△都市化による個人所有地の緑や農地の減少</li> <li>△住宅地の狭あい化に伴う緑地の減少</li> <li>△緑の質が低下している</li> <li>△多摩川・野川の水の汚れ</li> <li>△河川に親水性が少ない</li> <li>△ごみの不法投棄の増加</li> </ul>

※内容は，市民会議による現段階での検討状況を示したものです。

# 地域で共に助け合う，災害に強く犯罪の少ないまち

将来像

《将来像に込められた10年後のあるべきまちの姿》

◆市民の尊い生命と貴重な財産を守るため，自らの安全は自らが守る「自助」，地域で共に助け合う「共助」，公共が行う「公助」が連携して，だれもが安全で安心して暮らせるよう，災害に強く犯罪の少ないまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

安全・安心，災害に強い，犯罪の少ない，防災機能の向上，防犯力，  
だれもが，自ら備える（自助），地域で共に助け合う（共助），公助

まちづくり  
の方向性

## ①災害に強い基盤づくり

- まちの防災機能を高めるため，災害に強い都市基盤の整備※を進めます。
- 災害時における建築物の倒壊や延焼を防止するため，建築物の不燃化，耐震化を促進します。
- 地域の防災拠点としてふさわしい安全性を備えるため，公共施設の適切な維持・保全を進めます。

## ②防災体制の充実

- 自ら備え，共に助け合う地域の連携を強化し，地域における防災体制の充実を目指します。
- 被災時の情報伝達を迅速かつ確実に行うため，情報収集体制や市民への情報伝達体制の充実を図ります。
- 市民の健康や食の安全に対する不安を解消するため，放射性物質に関する市独自の測定や正確な情報発信により，安心して暮らせる体制整備に取り組みます。

## ③犯罪の少ない環境整備

- まちの防犯機能を高めるため，犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

## ④防犯体制の充実

- 犯罪による被害を未然に防止するため，地域の役割分担による防犯協力体制の充実を図ります。

## ⑤防災・防犯意識の向上

- 防災・防犯意識の向上を図るため，地域による防災訓練や防犯教育などの啓発活動を進めます。

※災害に強い都市基盤整備の例

延焼遮断機能の向上，行き止まり道路の改善，避難路の確保，オープンスペースの確保，木造密集市街地の解消，河川の氾濫対策など

現状と  
課題

### 強み（良いところ，伸ばしたいところ）

- 市立公立小・中学校の耐震化が完了している
- 避難場所が確保されている
- 地域ごとの防災訓練がよく行われている
- 安全・安心メール，パトロール活動が浸透してきている
- 防災・防犯に対する地域の意識が高い など

### 弱み（悪いところ，改善したいところ）

- △避難路や緊急輸送道路，延焼遮断となる道路の整備が不十分
- △住宅の耐震化が遅れている
- △緊急時の情報伝達体制が不十分
- △地域の防災意識の希薄化
- △防災・防犯面での地域コミュニティの希薄化 など

※内容は，市民会議による現段階での検討状況を示したものです。